

祝辞

このたび、晴れて「はたちのつどい」を迎えられた皆さん、誠におめでとうございます。そして、皆さんをこれまで大切にお育ていただいた、ご家族の皆様のお喜びもひとしおのことと、心からお祝い申し上げます。

令和8年の輝かしい新春を迎え、ここに「はたちのつどい」を開催できますことは、私にとりまして最上の喜びとするところでございます。

今年のはたちのつどいのサブタイトルは「20年を未来へ繋ぐ」と聞きました。今まで歩んできた20年を振り返り、故郷蒲郡で学び育った思い出とともに、新たな人生への土台として未来へ繋げて欲しいと思います。それぞれが蒲郡の「魅力」を考えていただき、海と山に囲まれた自然豊かで温かい故郷がいつもここにあること、その誇りを胸に、臆することなく様々なことにチャレンジし、皆さん一人ひとりが魅力ある大人として飛躍されることを願っております。

新成人の皆さんに贈りたい言葉があります。明治維新に強く影響を与えた、吉田松陰の言葉です。

夢なき者に 理想なし
理想なき者に 計画なし
計画なき者に 実行なし
実行なき者に 成功なし
故に 夢なき者に 成功なし

ここにお集まりの皆さんは、これから社会の一員として、重要な役割を担っていかれることになると思います。常に変わりゆく時代を皆さんの若い力で切り開き、大いに夢を持って、地域社会の発展のために邁進されますことを期待する次第でございます。

また今日まで、皆さんを大切に育ててくださったご家族や恩師の先生、地域の方々への感謝の気持ちも、心に刻んでおいていただきたいと思います。

結びに、前途洋々たる皆さんの益々のご活躍とご健勝を祈念いたしまして、皆さんに贈る言葉といたします。

令和8年1月11日

蒲郡市長 鈴木 寿 明